

快挙！

難関資格 2級建築施工管理技術検定に

3年生建築コース全員が合格しました！！



建築・電気科建築コース3年生15名全員が、昨年の夏休みから、毎朝、放課後、休日に補習を受けながら、2級建築施工管理技術検定に挑戦し見事全員合格を果たしました。この試験は、受験者の3割が高校生、残りの7割が一般の方が受験しており高校生には非常に難しい試験です。

2級建築施工管理技士とは

建築施工管理技士とは、建築工事現場において施工管理や監督を行う技術者の資格で、建設業法で定められた「施工管理技術検定」に合格した者を指しています。受験者の約3割が高校生になります。

建築施工管理技士は、工事の工程表などの資料の作成、品質の管理などを行う仕事です。この検定は、建築工事の施工管理を適確に行う技術者になるために必要な資格です。今年度から、学科試験に合格者は、2級建築施工管理技士補の称号が得られます。今後一定の実務経験を経て、実地試験に合格すると資格を得ることができます。